

提供日 2022/07/05
タイトル マダニ等が媒介する感染症「重症熱性血小板減少症候群」に注意しましょう！
担当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課
連絡先 感染症対策班
TEL 054-221-2986



Shizuoka Prefecture

一危機管理情報一

マダニ等が媒介する感染症「重症熱性血小板減少症候群」に注意しましょう！

～県内9例目（今年5例目）の患者が確認されました～

1 要旨

令和4年7月5日、県西部保健所管内で「重症熱性血小板減少症候群（以下「SFTS」という。）」の患者が確認されました。患者は高齢の男性で、現在入院中です。

県内でSFTSの患者が確認されたのは9例目、今年に入ってからは5例目です。春から秋にかけてマダニの活動が盛んになる時期です。レジャーなど農作業などで野山や草むら、畑などに入るとマダニに咬まれることがあります。マダニが病原体を保有していると、咬まれた人が「SFTS」、「日本紅斑熱」などの感染症にかかる危険性があります。これらの疾患にかかるないようにするために、野外でのダニ対策が重要です。

SFTSの患者は、3月頃から10月頃まで確認されています。

患者が発生しやすい時期は、

- (1) 野山や畑等の屋外でマダニに咬まれないよう十分注意しましょう。
- (2) 屋外を出入りする犬や猫等に付着したマダニに屋内で咬まれないよう注意しましょう。

報道機関各位におかれましては、感染者及び感染者家族等について、本人等が特定されることのないよう、格別の御配慮をお願いします。

2 患者について

(1) 概要

県西部保健所管内在住の高齢の男性が7月1日から発熱及び嘔吐があり、7月2日に医療機関Aへ救急搬送され、そのまま入院となりました。

マダニに咬まれた痕は確認されませんでしたが、症状等からSFTSが疑われたため、医療機関Aで採取された血液、咽頭拭い液及び尿について、県環境衛生科学研究所でPCR検査をしたところ、7月4日に血液からSFTSウイルスの遺伝子が検出され、7月5日に発生届が提出されました。

(2) 主な症状及び検査所見

発熱、嘔吐、血小板減少、白血球減少、出血傾向

(3) 推定感染経路

患者は普段から農作業をしておりダニに咬まれることが多かったと自覚していることから、今回はマダニに咬まれた痕は確認されませんでしたが、SFTSウイルスを保有するマダニに咬まれたことによって感染したと推定されます。推定感染地域は西部保健所管内です。

3 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について

(1) 概要

- 感染経路は、SFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることが中心ですが、血液等の患者体液との接触や、マダニに咬まれSFTSウイルスに感染している犬や猫の体液から感染することも報告されています。
- マダニに咬まれてから、6日から14日の潜伏期間の後、発熱、消化器症状などが現れ、重症化した場合には、死に至ることもあります。
- 県内では、令和3年3月5日に初めて患者が報告され、令和3年に4例（県西部地域2例、中部地域2例）、今年は5例（県西部地域4例、中部地域1例）が報告されています。

(2) 過去の患者数 (人)

年次	全国	静岡県	患者 (性別・年代・住所地・発生月)
平成28年 (2016年)	60	0	—
平成29年 (2017年)	90	0	—
平成30年 (2018年)	77	0	—
令和元年 (2019年)	101	0	—
令和2年 (2020年)	78	0	—
令和3年 (2021年)	110	4	1. 男・60歳代・中部地域・3月 2. 男・高齢・浜松市・5月 3. 女・60歳代・静岡市駿河区・6月 4. 男・高齢・西部地域・10月
令和4年 (2022年)	60 (※1)	5	1. 女・高齢・西部地域・3月 2. 男・80歳代・焼津市・4月 3. 男・高齢・浜松市北区・6月 4. 女・高齢・周智郡森町・6月 5. 男・高齢・西部保健所管内・7月 ← 今回

※1 全国の人数は令和4年6月26日時点。

4 日本紅斑熱について (参考)

(1) 感染経路

- 日本紅斑熱リケッチャという病原体を保有するマダニに咬まれることで感染します。
- 人から人へ感染して広がることはありません。

(2) 県内の日本紅斑熱の患者数 (令和4年は7月4日現在)

本県では、平成12年から令和4年まで43名の患者が届出されており、届出患者の住所地は、県東部32名、県中部1名及び県西部4名、その他（県外）が6名。

年次	全国	静岡県 (内は死亡患者数再掲)	患者 性別・年代・住所地・発生月
平成12年 (2000年)	38	1	1.男・60歳代・沼津市・9月
平成25年 (2013年)	175	1	1.女・60歳代・伊豆の国市・7月
平成27年 (2015年)	215	2(1)	1.男・60歳代・沼津市・8月 2.女・70歳代・伊豆の国市・6月※1
平成28年 (2016年)	277	2(1)	1.男・70歳代・伊東市・11月 2.女・70歳代・沼津市・5月※1
平成29年 (2017年)	337	6(2)	1.女・80歳代・熱海市・6月 2.男・50歳代・伊豆の国市・9月 3.女・70歳代・沼津市・9月※1 4.男・70歳代・沼津市・9月 5.女・80歳代・沼津市・9月※1 6.女・70歳代・沼津市・10月
平成30年 (2018年)	305	3	1.男・50歳代・三島市・3月 2.男・70歳代・伊東市・8月 3.女・70歳代・伊東市・10月
令和元年 (2019年)	318	10(1)	1.男・70歳代・神奈川県湯河原町・5月 2.女・70歳代・熱海市・5月 3.女・50歳代・県西部地区・6月 4.女・70歳代・伊豆の国市・7月※1 5.女・70歳代・熱海市・7月 6.女・40歳代・掛川市・9月 7.男・60歳代・熱海市・10月 8.女・70歳代・駿東郡清水町・10月 9.男・20歳代・伊東市・10月 10.女・70歳代・浜松市・11月

令和2年 (2020年)	421	8	1.女・70歳代・熱海市・5月 2.男・50歳代・熱海市・5月 3.女・90歳代・熱海市・7月 4.女・90歳代・南伊豆町・7月 5.男・70歳代・県外・8月 6.男・70歳代・熱海市・9月 7.女・70歳代・湖西市・10月 8.女・80歳代・熱海市・10月
令和3年 (2021年)	487	8(1)	1.女・70歳代・県外・5月 2.男・10歳代・沼津市・6月 3.女・80歳代・伊東市・7月※1 4.女・30歳代・県外・8月 5.男・70歳代・県外・8月 6.男・60歳代・牧之原市・9月 7.男・40歳代・県外・10月 8.男・70歳代・伊東市・10月
令和4年 (2022年)	116 (※2)	2	1.男・20歳代・賀茂保健所管内・6月 2.女・70歳代・熱海保健所管内・6月

平成30年の3例は、平成29年10月に発症したが、検体量が少なく平成30年に入って診断された1例を含む。

※1 亡くなられた方。 ※2 全国的人数は令和4年6月26日時点。

＜注意喚起＞

(1) マダニに咬まれないようにしましょう！

- 特にマダニの活動が盛んな、春から秋にかけて注意が必要です。
- 野山や草むら、畑などに入る場合は、耳を覆う帽子、首に巻くタオル、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくしてください。
- マダニ用に市販されている忌避剤はありますが、マダニの付着を完全に防ぐことはできませんので、他の防護手段と組み合わせて対策を取りましょう。

(2) 屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認しましょう！

- マダニに咬まれた場合は、数日間、体調の変化に注意しましょう。
- 発熱・発疹の症状が見られたら、早めに医療機関を受診し、マダニに咬まれた可能性があることを医師に伝えましょう。

(3) ペットに付着して、マダニが家の中に入ってくることもあります！

- 飼育している犬や猫にもダニ駆除剤を使用しましょう。
- できる限り猫は室内飼いにして外に出さないようにしましょう。